

第10回 美容薬学検定試験 解答・解説

問1	4	問15	2	問29	3	問43	4	問57	1
問2	1	問16	5	問30	1	問44	3	問58	5
問3	2	問17	1	問31	3	問45	5	問59	5
問4	2	問18	2	問32	1	問46	4	問60	2
問5	4	問19	1	問33	5	問47	1	問61	4
問6	1	問20	4	問34	2	問48	5	問62	1
問7	4	問21	4	問35	4	問49	2	問63	3
問8	5	問22	5	問36	3	問50	3	問64	5
問9	1	問23	2	問37	2	問51	4	問65	2
問10	2	問24	2	問38	4	問52	5	問66	4
問11	3	問25	4	問39	3	問53	1	問67	5
問12	4	問26	4	問40	2	問54	2	問68	1
問13	5	問27	2	問41	5	問55	3	問69	2
問14	3	問28	4	問42	1	問56	2	問70	3

<問12>～<問15>全文：

「汗腺には、エクリン汗腺とアポクリン汗腺の2種類がある。からだのほぼ全身に分布し、暑い時や運動中、熱いものや辛いものを食べた時など体温調節のために流す汗は、エクリン汗腺から出る。ほとんどが水分なので臭わない。一方、わきの下やへそ周りなど、からだの一部に分布するアポクリン汗腺から出る汗の出口は毛孔であり、この毛孔からタンパク質や脂質、アンモニアなどを含んだ、粘性（粘り気）のある汗が出る。塩分をほとんど含まないので、皮膚の菌が繁殖しやすく、そのにおいがワキガ臭となる。」

<問26> d：心臓の拍動によって心臓から血液を送り出し、末梢の細胞や組織に酸素や栄養を運ぶのは動脈が行い、その後、静脈を通して、酸素の少なくなった血液が心臓に戻ります。

<問28> d：アクリノールは各種の化膿菌に効果があり、低水準薬として用いられていますが、ウイルスへの効果は期待できません。

<問29> c：普通石鹸と逆性石鹸を併用すると陽・陰イオン同士が打ち消し合って、洗浄・除菌効果が弱くなります。

<問30> a：「自ら増殖できる細菌とは異なり、ウイルスは自分自身では増殖できない」が

正しい記述です。

<問36>～<問38>全文：

「ナイアシンは水溶性ビタミンであり、ニコチン酸とニコチン酸アミド（ニコチンアミド）の総称である。通常の食事で十分量を補うことはできるがアルコールを多く摂取したときは体内で多く消費され、不足しがちとなる。欠乏すると皮膚炎（肌荒れ）や口内炎といった症状が生じる。」

<問39>～<問41>全文：

「生体内の結合組織に多く含まれるゲル状の物質で、体内のいたるところに存在する物質がムコ多糖類である。この物質は、細胞と細胞をつないでいたり、また保水性に優れていることから関節の潤滑性を高めたり、皮膚・肌のハリを維持する成分の総称で、具体的には、コンドロイチン硫酸やヒアルロン酸などがある。」

<問51> 4：ターンオーバー（新陳代謝）のスピードは、からだの部位によって変わりますが、おおよそのところ28日～56日程度だといわれています。また、一般的には、年齢とともにターンオーバーのスピードが低下し、30代～40代になると50日前後はかかるといわれています。

<問53> 自然界には約500種類ものアミノ酸が発見されていますが、人の身体の形成に関与するアミノ酸は、わずか20種類です。そのうち、体内で合成することが出来ず、食事から摂取することが不可欠なものを必須アミノ酸と呼んでいます。

<問54> 2：パスタや日本そば、玄米はGI値が低く、逆にうどん、精白米、食パンのGI値は高い。

<問56> 2：必須脂肪酸としては、例えばリノール酸、アラキドン酸、リノレン酸などがあげられます。大豆油、エゴマ油、アマニ油にはリノレン酸が比較的多く含まれています。

<問57> 1：メリロートは、西洋エビラハギ、あるいはスイートクローバーとも呼ばれ、甘い香りのするマメ科のハーブです。含有成分のクマリンは、抗酸化物質ポリフェノールに分類される香りの成分で、血液やリンパ液の流れをスムーズにして血液凝固を防いだり、血行を良くして冷え性を改善します。

<問60> ボトックス注射にかわる美容成分として開発されたアルジルリンは、注射ではなく塗るタイプの成分です。アルジルリンにより、肌の奥の筋肉の緊張をほぐし、しわのないハリのある肌へ導くと期待されています。

以上